



議案	議案	議員	賛	否	公明党	日本共産党		新政クラブ		市政クラブ						会派の所属なし		議決結果								
						倉島良司	稲毛明	岡部直史	宮脇雅夫	福住ゆづり	江口卓王	佐竹政志	高橋幸信	風間輝栄	山崎正春	帆刈剛	泉誠蔵		池田強	山口功位	石川恒夫	清水友行	雪正文	山賀清一	中島正昭	遠藤智子
						村上清彦																				
予当 初 算	予当 初 算	平成 22 年度阿賀野市水道事業会計予算 収益的収支においては、収入 12 億 1,899 万 2 千円、支出 11 億 5,187 万 8 千円で収支差引き 6,711 万 4 千円となる。収入は、前年度と比べ 1,897 万 1 千円減の予算とした。支出は、前年度と比べ 3,067 万 1 千円の減となる。資本的収支は、収入 3 億 8,256 万円、支出 9 億 6,964 万 9 千円を見込み、収入は、企業債 3 億 3,560 万円等を、支出は、配水管整備事業費 1 億 7,977 万 2 千円、配水設備工事費 9,716 万 8 千円等を計上した。																	可決							
		平成 22 年度阿賀野市病院事業会計予算 収益的収支の収入は、医業収益 29 億 8,392 万 7 千円、医業外収益 1 億 6,426 万 8 千円、訪問看護ステーション収益 5,870 万 1 千円、介護老人保健施設収益 2 億 4,854 万 4 千円等合計 34 億 5,554 万 1 千円とし、支出は、医業費用 31 億 6,987 万 3 千円、医業外費用 4,126 万 7 千円、訪問看護ステーション費用 5,997 万円、介護老人保健施設費用 2 億 2,110 万 8 千円等、合計 34 億 9,331 万 9 千円を計上、収支差引で 3,777 万 8 千円の赤字となる。資本的収支の収入は、出資金 1 億 1,618 万 8 千円を、支出は、建設改良費 6,000 万円、企業債償還金 1 億 2,928 万 2 千円、合計 1 億 8,928 万 2 千円を計上、収支差引きで 7,309 万 4 千円の不足となる。 反対理由: 公設民営化を想定しない通年予算とし一般会計からの負担金等合計 2 億 5,600 万円を計上したが、一般会計予算では公設民営化を 4 月 1 日に想定し、病院事業会計繰出金に 6 億 6,900 万円余りを計上し 4 億 1,300 万円の差があり整合性がない。																	否決							
市長 提 出 議 案	条 一 部 改 正	阿賀野市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について 阿賀野市議会議員の報酬を、阿賀野市特別職報酬等審議会の答申に基づき改定する。																	可決							
		反対理由: 市民が不況で経済的に大変であり、市も財政難で市職員、病院職員の給料削減が続いている。 賛成理由: 現行の水準では、志をもつ人の新たな参入や、地方分権の推進に伴う議会・議員の多面的、専門的な役割を果たすことに、少なからず影響があると考え。																								
		阿賀野市職員等の給与の特例に関する条例の一部改正について 職員の給料月額を減額する期間を平成 22 年 4 月 1 日から平成 23 年 3 月 31 日まで延長する。																	可決							
		阿賀野市手数料条例の一部改正について 火薬類取締法に関する事務が、平成 22 年 4 月 1 日から新潟県より権限移譲を受けることに伴い、各種申請等に対して徴収する手数料を定める。																	可決							
		阿賀野市教職員住宅条例の一部改正について 物見山町教職員住宅 1 号を、老朽化と利用者の減少により、平成 22 年 3 月 31 日をもって用途を廃止する。																	可決							
		阿賀野市後期高齢者医療に関する条例の一部改正について 県広域連合後期高齢者医療に関する条例の一部改正により、平成 22 年度以降当分の間、4 月から 6 月までの暫定賦課を実施しないこととなった。																	可決							
		阿賀野市企業誘致条例の一部改正について 現行 5 箇年度である固定資産税の課税免除期間を、地方税の減収補てん措置期間である 3 箇年度にする。																	可決							
		阿賀野市集落排水処理施設条例の一部改正について 曾郷地区及び緑岡地区の集落排水処理施設の終末処理場の老朽化に伴い、廃止し、平成 22 年 4 月 1 日から公共下水道へ接続する。																	可決							
		阿賀野市農業集落排水事業分担金徴収条例の一部改正について 曾郷地区及び緑岡地区の集落排水処理施設の終末処理場の老朽化により廃止し、平成 22 年 4 月 1 日から公共下水道へ接続することに伴い、分担金の賦課対象区域から除外する。																	可決							
		阿賀野市道路占用料徴収条例の一部改正について 引用している法令の条名を誤っていたため、改正する。																	可決							
		阿賀野市病院事業管理者の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部改正について 病院事業管理者の平成 22 年 4 月から平成 22 年 6 月までの給料及び 6 月に支給する期末手当の削減を行う。平成 21 年度も 4 億 7 千万円の赤字決算が見込まれ、極めて厳しい経営状況のため 30%削減する。6 月支給の期末手当を 0.5 か月削減する。																	可決							
		阿賀野市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について 人事院勧告の給与改正に準じて、月 60 時間を越えた分の時間外勤務手当の加算に代えて代休（時間外勤務代休）を取得できるようにする。																	可決							
		阿賀野市職員団体のための職員の行為の制限の特例に関する条例の一部改正について 人事院勧告に準じて、給与を受けながら職員組合の活動ができる期間に時間外勤務代休を加える。																	可決							
		阿賀野市一般職員の給与に関する条例の一部改正について 人事院勧告に準じて、月 60 時間を越えた分の時間外勤務手当に対して新たに加算ができるようにする。																	可決							
		その他	市道路線の廃止について 県営湛水防除事業（安野川地区）に係わる営団橋の架け替えに伴い、飯森杉駒林線を廃止し、2 路線に再編する。																	可決						
市道路線の認定について 県営湛水防除事業（安野川地区）に伴う 2 路線、国道 49 号阿賀野バイパス整備に関連する 2 路線及び地元自治会からの要望の 4 路線を市道に認定する。																	可決									
字の変更について 国土調査事業第 30 計画区の水原の区域内において、字が混在しており地籍の明確化を図る。																	可決									
調停の申立てについて 中学校の学校諸経費未納の解決を図るため、学校諸経費未納の保護者を相手方とし、未納金支払いを求める調停の申立てを行う。																	可決									
新潟県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び規約の変更について 川口町及び小千谷地域広域事務組合が脱退し、十日町市及び新潟県中越福祉事務組合が新たに加入する。																	可決									
新潟県後期高齢者医療広域連合を組織する地方公共団体の数の減少及び規約の変更について 川口町が脱退する。																	可決									
請 願 ・ 陳 情	350万人のウイルス性肝炎患者の救済に関する意見書採択の請願 すべての肝炎患者を救済するため、肝炎対策基本法のもとに患者救済に必要な法整備、予算化をすすめることなどを求める意見書を関係機関に提出してほしい。																	採択								
	平成 22 年度土地改良事業関連予算の確保を求める意見書の提出を求める請願 農業・農村の持続的な発展と食料自給率を向上させるために欠かすことのできない土地改良関連予算を確保を求める意見書を関係機関に提出してほしい。																	採択								
	米価の下落に歯止めをかけ、再生産できる米価の実現を求める請願 「米戸別所得補償モデル事業」の補償単価の引き上げ等、米価の下落に歯止めをかけ、価格と需要を安定させることなどを求める意見書を関係機関に提出してほしい。																	採択								
委員 会 提 出 議 案	意 見 書	350万人のウイルス性肝炎患者の救済に関する意見書の提出 すべての肝炎患者を救済するため、肝炎対策基本法のもとに患者救済に必要な法整備、予算化をすすめることなどを求める意見書を関係機関に提出する。																	可決							
		平成 22 年度土地改良事業関連予算の確保を求める意見書の提出 農業・農村の持続的な発展と食料自給率を向上させるために欠かすことのできない土地改良関連予算を確保を求める意見書を関係機関に提出する。																	可決							
		米価の下落に歯止めをかけ、再生産できる米価の実現を求める意見書の提出 「米戸別所得補償モデル事業」の補償単価の引き上げ等、米価の下落に歯止めをかけ、価格と需要を安定させることなどを求める意見書を関係機関に提出する。																	可決							

○：議案に対して賛成 ×：議案に対して反対 欠：採決時に欠席

3月臨時会（平成22年第2回 3月25日）

市長 提 出 議 案	予 当 初 算	平成 22 年度阿賀野市一般会計予算 病院事業会計への繰出金について所要の修正を加え、平成 22 年度病院事業会計暫定予算と整合性のあるものとして計上した。																	可決
		平成 22 年度阿賀野市病院事業会計暫定予算 職員の給与削減に向けて労使交渉が難航し、解決の見通しが立たないことや、平成 22 年 7 月からの公設民営化の移行に向けて、準備を進めていることなどの理由により、3 カ月の暫定予算とする。																	可決

○：議案に対して賛成 ×：議案に対して反対 欠：採決時に欠席